

第2回遊佐町立学校適正整備審議会 会議録

会議日時 平成30年5月24日（木曜日） 19時00分～21時00分

会議場所 遊佐町役場 議事所

出席者 伊藤 順一（遊佐町小中学校長会会長）
松本 三也（遊佐町小中学校長会庶務幹事）
太田 くみ（蕨岡まちづくり協会）
佐藤 憲三（遊佐地域づくり協議会）
眞嶋 一（稲川まちづくり協会）
伊藤 悦子（西遊佐地区まちづくりの会）
小田原 裕（高瀬まちづくりの会）
佐藤 浩毅（吹浦地区まちづくり協議会）
今野 博義（蕨岡小学校PTA会長）
川俣 善幸（遊佐小学校PTA会長）
阿部 勝志（高瀬小学校PTA会長）
畠中 裕之（吹浦小学校PTA会長）
那須 正幸（遊佐中学校PTA会長）
伊藤 新一（遊佐中学校教育後援会会長）
伊藤 淳子（杉の子幼稚園園長）
佐藤 美紀（前遊佐中学校PTA副会長）

欠席者 高橋 智（藤崎小学校PTA会長）
池田与四也（遊佐町総務課長）

傍聴人 なし

協議事項 （1）第1回遊佐町立学校適正整備審議会会議録の承認
（2）資料の説明（第1回審議会での課題等）
（3）意見交換
①遊佐町立学校の適正規模について
②具体的な統合時期等について
③その他

※以下、赤字の部分については個人情報取扱いの観点より公開は控えさせていただきます。

協議内容の概要

教育課長 校長会の委員でありました歌川先生が退職されましたので変わって松本校長先生になっていただきました。はじめに委嘱状の交付をさせていただきたいと思います。
新委員の松本三也先生に委嘱状交付

教育課長 本日の出席状況は委員18名中2名が所用のため欠席。16名出席、設置条例第7条2項で過半数が出席していることを報告いたします。
始めに伊藤会長よりあいさつをお願いします。

伊藤会長 こんばんは。お忙しい中第2回審議会にご出席賜りましてありがとうございます。本日は第2回目ということで、各委員の皆さまから地域の声、自分の思いをそれぞれにご発言をいただくスタンスでこの会を進めさせていただきたいと思っております。あくまでも子どもたちが中心でございますので、そういった視点から子どもたちがより元気に成長することを願ひまして、色んな点から検討を進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

教育課長 ありがとうございます。次第に予定の時間が書いてございますがあくまで目安ありますのでこだわらずに何時間でもやるつもりでおります。よろしくお願いいたします。それでは進行は会長にお願いいたします。

伊藤会長 それでは進めさせていただきます。次第の4.経過報告、よろしくお願いいたします。

教育課長 松本校長先生は初めてでもありますので、皆さまの復習も兼ねて、第1回の審議会をふり返ってみたいと思います。事前に皆様に送付した会議録をご覧になっていただき、最初は議事録としてやっておりましたが、議事録だと1言1句間違えずに記録するということになりますので大変申し訳ございませんが、会議録に訂正させていただきます。

1回目につきましては、2月15日木曜日、午後7時～8時20分ごろまで開催されております。出席者については、17名の皆さま方に出席いただいております。山形新聞の記者が1名傍聴いたしました。始めに委嘱状の交付を行いまして引き続き会長と副会長の選任、推薦を終えまして、伊藤新一さんから会長を引き受けていただき、副会長には会長の推薦で那須正幸さんに引き受けていただきました。会議に入りまして、会議録署名委員は名簿の順で伊藤順一校長と歌川裕校長になっていただきましたので今回の会議録署名委員にはお二方をお願いしたいと思っておりますが、歌川先生につきましては、社会教育アドバイザーとして生涯学習センター勤務になっております。歌川先生には会議録を配布させていただいておりますので、その後に署名をお願いしたいと思っております。それから協議に入りまして、資料の説明を事務局でさせていただきました。説明が終わった後に佐藤委員から質問等がございまして、出生数の違いはどうかということ。1月末で町民課より確認した29年1月31日までの出生数が58人。佐藤委員の資料では68人となっていた。10名違っていた。佐藤委員の数字につきましては、1月31日まで1歳になっていない方が全部登録になっておりますので、28年の2、3月生まれの方が含まれていてその分の10名が増えていましたので1月31日現在58名という数字になっております。のちほど資料で説明いたしますが、5月15日現在で確認しましたところ、81名になっております。1月31日現在では58名、その後2、3月に4月の上旬までに住民基本台帳に登録された人数はその数字となっております。その後、（個人情報取扱いの観点より公開は控える）その後佐藤委員から平成28年2月1日号で、小学校統合説明会の中の地域の判断で決定するものとは何なのかと、那須教育長が地域との合意を図ることと理解しているとお答えしている。その後今野委員、蕨岡小PTA会長よりお話がございまして、今回の複式学級が発生するかもしれないことについては学年の保護者の方に詳しく説明をさせていただいておおむね理解をいただいている状況であるとお話がございました。続いて那須委員から吹浦小の状況もお話がありまして、もし7名と10名の学年がありますので、そこで1名減になった場合は複式のことも考えられるので審議会の中でも少し話をさせていただきたいということでありました。引き続き那須委員から複式学級に

おけるメリットデメリットを次回出していただきたいと、（個人情報取扱いの観点より公開は控える）その後眞嶋委員から小学校統合の場合については地域との結びつきが小学校は非常に強い、そのことも統合の場合には考えていただきたいとお話がありました。佐藤委員から（個人情報取扱いの観点より公開は控える）

このような議論の中で終了いたしまして、2回目には1回目の審議会で出された課題について説明しながら進めていく形にしております。

協議は事前に皆さまに会議録を配布しておりますので、その中で気づいた点がございましたら指摘していただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

伊藤会長 ありがとうございました。第1回審議会の会議録を説明いただきました。この件に関しまして、皆さまに事前にお手元に配布しましたので目を通していただいたと思います。会議録に対してご意見等あれば承りたいと思います。無いようであれば会議録の承認をいただきたいと思います。挙手でお願いいたします。

（全員挙手）

伊藤会長 ありがとうございます。全員承認で決定いたしました。続きまして、遡りますけれども、会議録署名委員をここで決めさせていただきたいと思えます。先ほど事務局よりお話がありましたように名簿順によりまして、今回は松本三也さん、太田くみさんに会議録署名委員をお願いしたいと思えますが皆さまいかがでしょうか。異議なしということでよろしく願いいたします。

それでは（2）資料説明、事務局お願いいたします。

教育課長 第1回目から指摘を受けていた複式学級になった場合のメリットデメリット等について説明させていただきますが、資料1について会議の前に配布させていただいておりましたので目を通していただけたかと思えます。メリットとしては人数が少ないと目の届きやすい指導ができる。子どもたちにとってはいい面もある。ただデメリットとしては学級数が少ないことにより学校運営上の課題があります。先生方の指導する側の課題もあると言われております。

資料1裏面に平成29年度の出生数、町民課の資料として付けておりますが5月15日時点で平成29年4月2日から平成30年4月1日まで生まれた方は81名ということでございました。この数字はこれから経過するごとに転入転出で増減する形になります。5月15日時点では81名と報告させていただきます。

資料2につきましては、鳥海補佐から説明させていただきます。

鳥海補佐 資料2について説明させていただきます。遊佐町教育委員会だよりをご覧ください。5月1日に広報と一緒に全戸配布させていただいたものです。関係するところを説明させていただきます。表面、30年度の町立小中学校の児童生徒数、4月17日現在の学校ごと男女別合計で載せさせていただきました。その下に遊佐町立学校適正整備審議会審議始まる。と掲載させていただきました。裏面、平成35、36年度遊佐町立小中学校の児童生徒数、学級数の見込みについて、これも4月17日現在ですが、昨年平成29年度に生まれた子どもたちが、平成36年度の1年生ということになります。そこにそれぞれ学校別、35年度36年度に分けてそれぞれ

れに掲載させていただきました。最後の下の※のところをご覧くださいなのですが、複式学級とは、2学年で1クラス（担任が1名）となる学級のことであります。設置基準については、小学1年生と2年生の場合2学年の合計が8名以下になる場合は複式学級ということになります。2年生以上については上下2つの学年の合計が16名以下になった場合複式学級になるということになります。上の表で四角で囲ったところが複式学級となります。数字の網掛けしたところは1名減が生じた場合、2学年で16名になると複式学級になります。上の表の蕨岡小学校35年度の2年生3年生、36年度の3年生4年生。ここで1名減になった場合複式学級になります。あと高瀬小学校についても35年度の3年生4年生、36年度の4年生5年生が15名ですので、16名以下になります。

教育長 ここに入っていないが34年度の2、3年になる。（複式学級に）

鳥海補佐 そうですね。まずはここに書いてある通りになります。説明については以上になります。

教育課長 人数のところを補足させていただきます。下から2段目小学校の計で1年生のところ36年度82名になっております。先ほど私が申しあげたとおり81名と1名違っております。ここは4月27日現在で82名でありまして、その後異動があつて81名になったとご理解の方をお願いします。

伊藤会長 ただいま資料1、資料2説明を受けましたが、この件に関しまして、何かご意見等ございませんか。あれば挙手の上お願いいたします。

無いようですので、次に進めさせていただきます。次第（3）意見交換。冒頭申し上げました通りここで各委員の皆さまから地域の代表、組織団体の代表としても参加していただいていることもありますので、ご自分の思いも含めて、子どもに1番近いPTAの方から順にご発言いただければありがたいと思います。蕨岡の今野さんからお話いただければありがたい、よろしくお願いします。

今野委員 蕨岡小学校PTA会長の今野と申します。第1回目の時にもお話をさせていただいたのですが、蕨岡に関しましては（複式学級が）現在1クラス発生しておりますして現在3年生4年生が1クラスという形になっております。前回の適正整備審議会にも参加させていただいたわけですが、その適正整備審議会で次の遊佐町内の小学校は1校が望ましいと答申を出させていただいた時の委員だったということもございします。今回具体的に蕨岡小学校で複式が発生して、今現在であっても私の気持ちとしては統廃合を繰り返すということではなく、どこかのタイミングで町内1校を目指すべきではないかと考えております。ただ小学校1校ということになった場合、今後、この審議会で決定していくわけですが、仮に遊佐小学校の場所に1校になった場合、全員が入れる部屋数がないということが前回のお話の中で出てきました。そういったこともありますので、きちんと1校になるという形に進めるにあたっては、予算の部分につきましてもきちんと確保していただきたいということで進めていかないといけないのかなと考えております。正直なところ当校も4月から複式学級が発生した中で2度3度授業参観を見てはいるのですが、昔から言われている複式学級の進め方と現在の流れがちよっと違っている部分もあり、正直なところ私自身はつきりといつごろとは現段階では申し上げられるような心の整理がついていない。ただ1つ思いましたのは、現在、複式学級になっているわけですが、今回メリットデメリットをお出しいただきまして、蕨岡に関してはメ

リットの部分も大きく、先生方も子どもたちに対して指導していただいていますし、メリットの部分を十分生かしているような形で私自身は受け止めた。あと適正規模は1クラス人数20人がいいのか30人がいいのかというお話になってくると思うが、蕨岡小の少ないクラスを見てきた限りでは、切磋琢磨する部分は確かに必要ではあるけれども、人数が多くなるとその中で埋もれてしまうお子さんがいらっしゃるということが気になっていたところです。

伊藤会長 ありがとうございました。

川俣委員 遊佐小学校ですが、資料2の児童数を見る限り遊佐小学校では統合、複式とかは関係がないように見えますが、児童数が減っていることは確かで実際に2クラス以上ある学年も6年生が最後になると聞いております。他人事ではなく検討していかなくてはならないと思っています。今野委員からありましたけれども遊佐小学校に統合1校になった場合受け入れる側としての共通の問題として検討していきたいと思います。

阿部委員 高瀬小学校のPTA会長の阿部と申します。資料を見る限る蕨岡小さんで複式の学年が出ている、次に出るのが高瀬小学校ということですが、私PTA会長4年目になるが、前回蕨岡小と遊佐小の統合の話題が新聞紙面に出て、保護者の皆さんから統合についていろいろ聞かれます。その中身というのが「いつごろになるの」という言葉がほとんどです。全員が全員私に聞いてくるわけではないけれども、大部分の方が今の時代の現状を見て子どもたちが減少していく、その逆の方向に行くプラスになる状況がない中でいずれは統合しないといけない。今の保護者の皆さんは思っているのではないかなという感じを受けます。遊佐の地域それぞれあるわけですが、いろいろな特色があり色んな活動をしておりまして、地域色が濃い中で、統合を1つにまとめる、1つか分かりませんが、まとめるのは大変なのかもしれないけれども、今の保護者もそして逆に子どもたちは適応力があると言いますか、どんな形になっても大人よりしっかり受け入れる感じはします。ただいづれ私個人的に統合は避けて通れないものと思っています。統合に向けてできることと言った時に、新しくまた学校を建てるとか、できることとできないこと、それぞれの立場でしか分からないことがあると思うのですけれども、それをいかにどれくらいの期間で調整できるかその辺ではないかなと、流れ的には遊佐小学校に入る人数になった時に統合するのか分からないが、その辺も含めてどれくらいの期間が必要になるのか、それぞれの地域の思いもあります。その辺も含めて調整するのが大事なのかなと思います。

畠中委員 吹浦小の畠中です。私も高瀬小学校の阿部会長と同じで集りがあるたびに統合について相談を受けます。聞かれることはとにかく2つ、1つは「統合するのかしないのか、どっちなのか」これに対しては私自身、決めるわけではないので「考えている途中です」としか説明できない。次に聞かれるのはみんな決まって「いつなのか」。今ここでは複式がいいのか悪いのか。子どもたちの将来を見据えて話をしているのですが、保護者にとしてみるとそんなことよりも自分の子どもが統合した状態で統合した新しい学校に入らなければいけないのか。それともぎりぎり大丈夫なのか。どっちにしてもはっきり出ていないので、うやむやにしかできない状況です。

結局今人数を出していただきましたが、先ほど教育長さんがおっしゃった、これで行くところの資料も入れて平成34年度に高瀬小学校2年生と3年生が7人と8人で普通に考えると複式学級に該当する年度。今後複式が見込める1番最初が平成34年度になりますので、今考えなければいけないのは、前回の適正整備審議会の中で複式は出さないという大前提のもとに、34年度には統合するのか。先ほど今野委員からあったように複式も何とかなるというので、遊佐小に入るところまで待つて統合するのか。おそらく1番各家庭の保護者が聞きたいのはそこではないかと思っております。

那須委員 こんばんは。遊佐中PTA会長の那須正幸です。私も蕨岡の今野さんと同じように今から7年前の適正整備審議会の委員として、当時吹浦小学校のPTA会長として参加させていただきました。審議会の内容につきましては答申書がでているわけですが、今振り返ってみますと、内容的に、全町的に、長期的原点に立ちという形で文章が入っております。当面する課題を前に審議を重ねてきた結果をまとめたものと文言が入っております。当時の審議会の内容は振り返りますと稲川小学校、西遊佐小学校2校が統廃合に向けての形の審議会の色が濃かったように思われます。統合という言葉を出すことがとても重い会議であったような記憶があります。（個人情報取扱いの観点より公開は控える）その際に色々な面で考えた中でとても課題が多い審議会でしたので、1回集まってまた2回集まってその都度地元に戻って、まち協会で理事会を開いていただきまして「こういう審議会の内容でした」と「次はこういう内容でした」と「どういう風にまち協会の理事会の方々はお考えでしょうか」と理事会を開いていただいて「私の意見はこうです」と伝えさせていただいて、その中で切磋琢磨しながら出した答えだったと振り返ってみますと、そう思っております。7年が経ちまして、私もまち協会の一員としてまた中学校のPTA会長として振り返ってみますと先ほど今野さんもいいましたが、当時の流れと今の流れも少し、関係も変わっていると思います。皆さんからも考えていただきたいのが、今から26年前に遊佐の中学校、3中学校が統合しました。新しい遊佐中学校ができた時に全ての皆さんが賛成、全ての皆さんが反対だったのでしょうか。私はこの当時携わってはおりませんけれども、今26年目を向かえた遊佐中学校、例えば、統合しないで3校のままで来た場合どんな形の遊佐の中学校になっていたのでしょうか。藤崎中学校、菅里中学校、遊佐中学校とありますけれども、やっぱり1校100名くらいの規模の中学校になるのではないかなと思っております。結果論26年前には約800名の生徒がおりましたけれども今現在311名ということでまた5年後には250名くらいの規模になっていきます。250名と言いますと今の鳥海八幡中学校が本楯地区、八幡地区を合わせても250名くらいの規模。やはり少子化というのはこれから進んでいくのかなと思っております。2回目の審議会を迎えるにあたって私は時期的にはもう少し早くやっていただきたかったと思っております。実は昨年に中学校・小学校のPTA会長・副会長合わせまして考える会を開催させていただきましたが、本当はその時期に2回目の審議会を開催していただいて地域の皆さんとかPTAとか町民の方々からも色々な意見をいただきながら進めていって短期で決めていくのではなく、あえて長いスパンをもって意見交換をしながら進めていけるような会になっていただければありがたいと思っております。やはり周知がどうしても、昨日もまち協の中でも町政座談会があったのです

が、小学校の保護者からも色々な意見が出ておりました。先ほど吹浦小学校のPTA会長からも「いつするのか」等、色々な疑問がPTAからも出てくるようです。審議会の内容的には承認をいただかないと出せないような状態になっておりますけれども、もう少しソフトな面を町民の方々、PTAの方々にも周知をして「こんなふうに審議会をやってます」「こんな感じでやってます」等を伝えていけるような方法をとっていただければありがたいと思っております。やはり密室の中で物事が決められているような形で町民の方々も見ているところもありますのでもっと大袈裟に傍聴してくださいと言っていただけるような形で進められればいいかなと思っております。統廃合につきましては、私は統合する形で進めていただければありがたいと思っております。複式のメリットデメリットをいただきましたが、指導者保護者にとってのメリットデメリットではなく、本来子どもたちにとって何が1番のメリットでデメリットなのか。「やはり友達が多い方がいい」「競争はあった方がいい」と私は思います。そして、楽しい毎日、学校生活を送れるのであればいいと思っております。

佐藤（美） こんばんは。第1回には欠席しまして誠に申し訳ありませんでした。前遊佐中PTA副会長をさせてもらっていた佐藤美紀です、よろしくお願いします。私は職場も町内で、吹浦地区の祖母の方のお話を聞くことがある。やはりお母さん方とかおばあさんという立場の方たちは将来的には統合すること、それがいつになるのかが気にはなっている。うちでも統合の話は話題になったりするのですが、「遊佐小学校に今現在統合しようということになっても入らないという話が聞こえてくる。」複式学級にしないということが優先されるのか、それとも建物とかハード面、足りる校舎があれば、統合に向けてどんどん話が進んでいくのではないかと、とも最近感じてきてまして、その辺の問題はいつごろ解決されていくのかと思いながら、入れるところがなければ統合が進まない状況なのかなと思ってます。統合する時期とか、統合することによって、登下校の不安がなくなるのではないかなということもある。「スクールバスで登下校できる」「少ない人数の登校隊で寒いところ吹雪の中を歩いて行かなくていい」と「不安な思いをしなくていい」と思っているのかなと話を聞いています。また、ある程度の会議で決まっていた話を情報発信していただければ思っているところです。

伊藤（淳） まず子どもたちを1番に思っています。園の生活で2クラスだったら15、16名、1クラスだったら20名28名の子どもたちが卒園した後で、そこでお母さん方が言う「こっちの地区だと10何人、20何人クラスだったのに」ということを卒園の時に声が出たりして「中学校になったらまたみんなで顔合わせて楽しく」というようなことを聞くと、中には義務教育で本当は平等でなければならない、そのクラスの人数だったり色んな生活だったりがこの地区に生まれたからとか同じ同町内の中でも子どもたちの生活がどうしてもその地区で1桁のクラスだったりこちらの地区では2桁のクラスだったりした時に様々なデメリットを資料として上げていただきましたけども、これが子どもたちの日々の生活の中で起きているということは私たち大人が1番子どもたちが必要なもの、先ほど言いました友だちが多ければいい。ゆざっ子10ヶ条の中にあります。思いやる心で広げる友だちの輪、友だちがいなければ子どもは大きくならないです。ありがとういつも忘れず明るい家

族、それも友だちがいればこそありがたいの数も増えますし挨拶も増えますし、体を鍛えいい汗かこうもやはり競う友だちがいたり、本当はこの活動をさせたくても人数が足りなくできないところもあるわけです。それができるようになるのであれば、私は統合を、まずは皆さんで統合に向かってどうすればうまく子どもたちのハードルを低く、そして地区の皆さんとも今問題である、地区で子どもたちを通しての色々な行事だったり、どうするとプラスに変えていけるんだろうかというところを皆さんで話し合える会にできたらと思っています。子どもたちは色んな形の友だちの輪があると何かトラブルだったり何かあるとき、同じ隣の方とのトラブルの時は隣のもう1つのグループで癒されたり色んなことがあるのですが、そういうところを数がいないと人数のまとまりがないとなかなかできない。人数が少なければ丁寧にというのはとても分かるのですが、でもそれ以上に私はこういうところを子どもたちの環境を豊かなものにできるのは統合だと思っています。プラスになるようにマイナスをプラスになるように話し合える会にできたらなと思っています。

佐藤（浩）委員 （個人情報取扱いの観点より公開は控える） 皆さんがお聞きしました視点を変えて、昨日吹浦で町政座談会が行われました。町長を始め那須教育長も出席なさいました。その中で吹浦小学校の2年生のご父兄から統廃合の問題について質問がありました。議題はなかったのですが、私は委員として質問が来たなと思いました。要するに不安だということです。2年生ですから不安だと、なぜ不安なのか、情報が入ってこないからだ。今日ここに来る前に吹浦小学校の校長先生とお会いして色々と話題提供しながらご意見をお聞きしながら参加したわけですが、まずこの委員のメンバーを見ますとPTA会長、それから地域づくりの代表の方だと思うんですが、これが何を意味しているのかというとその学校、小学校の父兄の皆さんを集めやすくそしてより情報を提供しやすいというためのメンバーがPTA会長だと思う。それに私たちの地域づくりの代表が連携してそしてご父兄さんに色々不安を与えないで結論的には教育委員会に答申して統廃合になるかもしれません。でも1番大事なのはこの委員会で決めてそしてご父兄に審議会で決まったという形に絶対取ってはいけないと思います。数多くのご父兄の会合をもって私は情報交換をすべきではないかと思っています。昨日のご意見の質問に対して町長と那須教育長が答弁なさいました。的確な答弁でありました。何と言ったかということ、小学校学区のご父兄の皆さんと会合をよく開いて連携を密にして、審議会の情報発信、そしてご父兄の意見を聞いて、そして審議会に提供する。それが望ましい。という回答でした。私も同感だと思ったものですから今発言しています。本当に皆さんご父兄の意見、地区からあってそして意見を述べるようなチャンスはご父兄にはないわけですからそのものを拾って私たちがこの場で発言するのが理想的。関係がないとこれはできない。だからPTA会長が1番父兄を集めるチャンスが1番あるわけですから多く集めて、そして先ほど言いました、まちづくりの会長等とあるいは那須教育長とも時間があれば、吹浦あたりまで呼んでもらって、ご父兄の前で意見を述べてもらう、そういうようなシステムを取れたらなと思っているのです。（個人情報取扱いの観点より公開は控える）

教育課長 （個人情報取扱いの観点より公開は控える）

佐藤（浩）委員 （個人情報取扱いの観点より公開は控える）

教育課長 （個人情報取扱いの観点より公開は控える）

教育長 (個人情報取扱いの観点より公開は控える)
佐藤^(浩)委員 (個人情報取扱いの観点より公開は控える)
教育長 (個人情報取扱いの観点より公開は控える)
佐藤^(浩)委員 (個人情報取扱いの観点より公開は控える)
教育長 (個人情報取扱いの観点より公開は控える)
伊藤会長 (個人情報取扱いの観点より公開は控える)

小田原委員 高瀬まちづくりの会から来ました小田原と申します。統廃合についてはどうしても人数的な問題があるのでこれは致し方ないことではないかと私も思っております。以前、ある小学校に2年前に行ったことがございます。ほとんど複式学級でございました。

統廃合に関しては、難しい問題があるということも十分分かるので先ほどからお話があったように、会議の中でこのような方向で統廃合に対して意見ができましたということを教育委員会だよりとかできちんと町民に発表できるような情報開示ができるようなのがあればいいのかなと感じております。この委員会だよりの案内を見たときにここに始まると書いてある、とてもいいことだなと思ったのですが、実を言うと、皆さんとおしゃべりすると「書いてあった」と私が言うのと「どさ、そんなあった」と普通のおうちの方は皆さんそうおっしゃいます。「ちゃんと広報に挟まってたピンク色のあれを読むと平成36年ぐらいには複式学級なると書いてあった」と「そんなあったか、そんな難しいこと見ない、分かんない」というのがわりあいと多いようです。なので、できれば教育委員会だよりがラインにするのではなくて吹き出しのような感じだと読みやすい。いつも役場関係のものはそうなんです。表を見て下をよく見ると「数字に網かけした学年は1名の減員が生じ2学年計で16名になると複式学級になります」これって読んでよく分からない。そうでしょう1名減員と言われても、なんかすごく分かりにくい。つまり「1名が減ることによって複式学級になる可能性がある」ともっと分かりやすい感じになるのでは。例えば「複式学級になりやすい」のところに吹き出しがあって可能性大なんてのがあれば「そうか」と思うわけです。だから誰も見ないわけです。広報はそんな感じがしますのでそういうことをしたらもう少し皆さんも知って、要するにこういう会議が秘密裏に行われているんじゃないということをアピールした方がいい。もう1つ、コミュニティ・スクールができましたが、いまいち何なのかなというものが私自身、正直なところでは。これと統廃合と関係しているのかな・・・そういう意味があるのか知りたいと思ったところです。

伊藤^(悦)委員 西遊佐まちづくりの会伊藤と申します。児童数の減とか少子化については今後も続くと思いますので統合に向けて進んでいた方がいいと思います。子どもの立場に立ってより良い教育環境を目指したら統合かなと思われます。私も平成26年4月開校しました藤崎小学校、統合したことによって友だちもたくさんできたということと何よりも子どもたちの目がきらきらと輝いていたということでお聞きしたことがありました。それから旧西遊佐小学校の時は運動やるにしても指導はマンツーマンでできていいのですが、やれる競技が決まっていたし、やっぱり人数が多くなると色んなことができるようになると思いました。学習面でも個人の考え方や学び合いの機会が少ないため、切磋琢磨する機会が少なく井の中の蛙に陥りやすいと思

います。でも統合することによって子どもたちの先生方の目配り、気配りが行き届きにくくなり、勉強に集中できない児童が授業内容を分からないままにするのではないか。子どもたちの学力低下にならないか。学力低下にならないための措置ということで、ご配慮していただければと思います。

眞嶋委員 稲川まちづくり協会の眞嶋です。私も孫がいます。合併は子どもが親で切実な問題で私がこの会議に出てと言われましたけれども、なかなかまちづくりでも地区の意見を聞くことができない。まちづくりの運営審議委員会などで意見を出してくれと言っていますけれども、なかなか自分の意見を出していいものか分からなくておりました。それから26年前の中学校が合併する時、私もPTAの役員でありまして当時明倫中の事件、遊佐中のガラス割り事件とかありまして大変心配しました。今となりに佐藤憲三さんもおりますけれども、当時新1年生で憲三さんと一緒に入りましてPTA活動をやりながら子どもたちを迷わせてはならないという気持ちでみんなまとまってくれまして、大変スムーズに合併が進んだことを今思い出しております。やっぱり数が多くなればそれなりのメリットが遊佐中の場合はありました。この前も新潟で痛ましい事件がありましたけれども、私もマラソンをやっていますので冬も走りに出たりしますと子どもたちが1人2人で帰ってくるのをたびたび見ます。やっぱりそういう点でも父兄は心配でもありますし、やっぱり合併してスクールバスで通えるのであればそういう心配もしなくていいのかなという感じもしております。

佐藤（憲）委員 遊佐地域づくり協会の佐藤と申します。PTA会長、各委員の話を聞いて私はこの委員の打診があつて自ら引き受けるという決断をしましたのは、あくまでも平成24年の審議会の答申を一応頭に入れてこの会に前回から参加しております。そういう意味では、第1回目の時に当時のPTA会長の皆さんあるいはこの会議の基本スタンス2点については変わらない。将来的には複式学級は作らないという確認と町内1校の統合の確認を前回させていただきました。先ほどのPTA会長から統合する、しない。あるいはどこかのタイミングで複式になる。まさにそこが24年度の答申の部分にその時点では確認をされてスタートしたものと私は思っていました。私どもまち協の部分で代表、機会ある毎にこの会議の中身について役員会等で遊佐については私の責任でお話をさせていただいています。また、コミュニティ・スクールについても遊佐小学校は昨年から他校に先駆けてスタートしておりますので、その部分についてもまち協の役員会、総会等で話しており、いわゆるそれは委員としてここに出させていただいている立場としては、情報は当然共有してもらわなければならないという意味合いでそういう立場でぜひこの会議の中では今回こういう情報のデータが出されているわけですから、今後の蕨岡小学校に続く複式学級がデータ上出ているわけですから一応目安としては、今後複式学級は作らないという部分が各委員が理解さえいただければ、ここを前提にして考えていくのが私は正しいのではないかと思いますし、当然付随する色んな問題は溢れるほどあります。各地区によってあると思います。そこは当然並行して考えていくべきだろうと思いますので、これがちょこちょこ複式学級が出てもまだ1小にならないからしょうがないと複式学級が各小学校にばんばんと出るようなことがあつては第1回の審議委員のメンバーが苦勞して掲げたものがそれは無理なのではないか。変わるこ

とがあっても根本的なものはよほどの事情がない限りこれは前提において議論すべきと思っております。

太田委員 蕨岡地区の太田くみです。よろしくお願いします。今いろんな方からお話が出る中で遊佐中学校が統合されてから26年というお話が何人かからありました。私も遊佐中学校統合の4年くらい前でしょうか、菅里中学校にちょうど赴任しまして、まさに中学校が3校から1校になるというところで非常に大変だった思いをしたこともあります。統合までもプロセスがいかに大事なもののか、でも今こういう審議委員の立場になってみるとこのようにして色んな形で審議されてきたものも忘れてはいけないと思います。何人かその当時の方もおりますけれども、そのような経過をもって今小学校の統合に向けているんだなということをまず私は自分の中で統合に進めていくことを前提にしてここに参加させていただいております。蕨岡小学校も3年くらい前、突然新聞に報道されて遊佐小と蕨岡小が統合する、2校統合という記事から大騒ぎして蕨岡小学校のPTA会長もその時からずっと同じですが、地区の大変な騒ぎでした。その時は今佐藤さんからありましたように、その審議では、複式が生じた場合と小学校6校を一緒にする、町内1校にすることが前提でしたので蕨岡の地区では猛反対でした。6年の小学校に通う中で1年生の時と6年生の時不幸にして2回の統合も考えられることも考えて異常な反対で、色んな計らいでその時は収まって現在に至っているわけですが、蕨岡で今年複式が発生した中でこのような複式が発生したけど今統合しないのかという意見はないのです。その話し合いがあったからこそ、地区としても子どもたちのためにいい方に進めていきたいという地域の声が大きいです。ですから非常にうまい形で現在いっていると思います。ただやはり近い将来小学校が1つになることが皆さん前提なのかなという考えは大きく持っていますので、ぜひ進めていくべきかなと思います。先日の広報にも町民の声として、庁舎を新築という声、それは私の受け取り方では今の遊佐小学校のところに役場を移して新庁舎を建ててというご意見のようだったようです。町の中では統合1つの小学校どこに建つのかという話題はこの審議会の以前にどんどん進んで行っている。1人歩きまでは行かないにしてもかなり進んでいるのではないかと感じております。

松本委員 こんばんは、蕨岡小学校校長の松本です。まず本校今年度から複式学級が誕生したわけですが、昨年度11月ぐらいから資料にも載っていますとおり、児童の中で個別の指導計画で学習した方がその子にとってよろしいのではないかとということで親御さんと話し合いをしながらそのことによって、昨年度、今の4年生が10名、3年生が7名、2年生が11名という形だったのですが、どちらも1名2名の異動があれば3年生4年生、2年生3年生も複式学級にしなければいけないという状況でした。(個人情報取扱いの観点より公開は控える)結果的には下の学年の方で、(個人情報取扱いの観点より公開は控える)現在学年上がったわけで、3年生4年生の方で9名と7名で16名になって複式学級という形で進めております。ただ保護者の方にはそういう形で可能性があるという段階でお話を進めてきたので大きな混乱はなく進められたのではないかと本当にPTAの皆さんに感謝しているところです。ただ1つ複式学級について中々そういっぱいあるわけではないので、本校の場合は3年生4年生が複式です。本来であれば5学級です。そうすると教員が2

人減ります。ところが特別支援学級の1クラス復活という形で開設したものですから学級数が6、教員数は減っておりません。ですからこの文章等でも今までと同じ形で学校を進められたので大きい混乱はなく進めることができました。本来であれば複式学級が1クラス誕生した場合5学級になりますので教員の数減ります。そうした場合には先生方に苦勞をおかけする場面がすごくでてくると思います。ただそうやっている学校もあります。(個人情報取扱いの観点より公開は控える)ただ当然切磋琢磨するような場面が当然少なくなりますし、球技も人数が足りなくできないとかそういう場面もでてくのではないかと思いますので、このメリットデメリットをもう1度考えながら進めなければいけないと思っています。1ヶ所だけ指導する側の③単式学級の場合と異なる指導順となる場合～の文言、ここは分かりにくいところかなと思うんですが、例えば3、4年生で複式のところで、4年生の授業を技能教科の場合は可能ですので、例を出すと音楽を3、4年で4年生の授業をやったとします。そうすると4年生は次の年5年生に行きますので5、6年生の複式に行きますからこれはそのままです。3年生は3年生の時に4年生の授業をしていますけど次の年自分たちが4年生になった時に下の3年生と一緒に複式学級になりますからここで3年生の授業と一緒にやれば3、4年自習したという形になります。ただ4年生で3年生なのに4年生の授業をして他の学校に転出した場合は3年生の授業を聞いてないのでここが大変になってくる場所。ここ分かりにくいと思いました。それでこれから統合を進めていくことですが、やはり統廃合は避けて通れない問題ではないかなと思うのですが、やはり時期をどうするか、1番いい時期を捉えなければいけないと思います。(個人情報取扱いの観点より公開は控える)あと地域との連携も大事だと思います。その辺も考えて進めなければいけないかなと思いました。

伊藤（順） 遊佐小学校の伊藤です。よろしくお願いいたします。今複式学級については十分説明がありましたので、お分かりいただけたと思いますけれども、私もこれまで3度の統合を経験させていただきました。私いつも考えるのは、我々教員だとか保護者、地域のことももちろん考えなければいけないが、1番に子どもにとってどの形がいい形なのかということをこの場で話し合っていく必要があると思っています。那須委員からもありましたけれども、どの地区の子どもたちも統合する、しないに関わらず学校には笑顔で通学、通える遊佐町であって欲しいし、我々教員としてもそういう学校であれば少なくとも多くても1人1人の子どもたちを大事にしながら教育を進めていきたいと私は思っております。また、稲川小学校と西遊佐小学校の統合にも私関わらせていただいて、一応伊藤会長と統合前の1年間、年間何回お会いしたか分からないくらいたくさんお会いする機会がありました。その前年度2年くらい前からすでに話し合いが様々な学校部会や地域の部会であるとかPTAの部会に別れて両校の摺合せをたぶんしてきたのではないかと考えております。そういった意味ではできるだけ早い時期に答申を出していただいて、きめ細やかに先ほど保護者、地域の意見を聞きながらということもありましたので、ていねいに進めていくことが非常に大事ではないかと考えております。これからもよろしくお願いいたします。

伊藤会長 ありがとうございます。各委員からそれぞれに思いも含めて色んな視点からご

教育長 発言いただきまして本当にありがとうございました。その上で教育長から感想等を。
もし1回まわったがまだお話したい、これは話さなければという人いるかもしれない。

今野委員 皆様のご意見をお聞きしましてその上で1言だけお話させていただきたいとも
思います。蕨岡はずっと複式がいいとお話をしているわけではもちろんないです。
ただもしも前回の答申、複式学級を発生させないということと町内1校という2つ
の答申があったわけですが、じゃあ2つを同じ時期に実行できなかった場合
どうするのかをまず念頭に置いて、皆様のお話を進めていかなければいけないと
思います。答申は確かに大事ではあるが、本来前回の答申に則っていくとすれば、
今から数年前に起こった蕨岡小学校と遊佐小学校の統合の話が出た段階で本来は適
正整備審議会なり1校にするための話し合いがなされてなければいけなかったと思
います。今回図らずも蕨岡は複式学級が発生してしまったわけですが、私冒
頭で申し上げました通り、やっぱり小学校は1校になるべきだという気持ちは今で
も変わってはいないです。ただタイミングというお話になったときにあまりにも答
申にとらわれ過ぎてしまって34年には複式が発生するからじゃあ33年だろ
うと、ここを最終的な結論として持って行っていくのかどうかという話をするにあ
たって、先ほどお話ししまして入れる校舎はあるのか、仮にこれから先は分かりま
せんが、33年には統合しようとお話をしました、でもそのタイミングで入れる
校舎はありません。というふうになります。ただし35年、36年、もしかしたら
その2年後3年後には今の校舎をそのまま生かせるような状態が発生するかもしれ
ない。というふうな臨機応変な話し合いをしていくべきだと思いますので、前回の
適正整備審議会の答申に関しましては、1つの土台、方向性としてはよろしいと思
いますが、必ずその通りにしなければいけないかどうかというのは改めて考えてい
かなければいけないと思いました。

伊藤会長 ありがとうございます。他にございますでしょうか。

那須委員 実は各小学校のPTAの理事3役が、私たちのころはPTA会長3年続けるのは
当たり前だったのですが、父兄の負担が大きいということで年度ごとで役員が変
わる形になっています。であると前年度に行った行事の引き継ぎ等がなかなかでき
ていなくて新しいPTA会長は答申の内容も分からない状態で会議に参加している
というところもあるんです。それは教育長も同じです。課長も同じです。課長も前
回は出ていなくて審議会の内容、1回目はなかなか誰も分からないと思うんです。
人は年度ごとに変わっていくから考え方も発言の仕方も変わってきますので、今
年度やった適正整備（案）の内容を必ず引き継げるように私たちだけでなく町民の皆
さんにも前年度はここまでやったという内容が分かるような周知の仕方を今後、教
育委員会の皆さんにお願いしたいと思っております。またPTA会長にも理事会、総
会、保護者会等があった時には必ずお話を出していただきまして、学校適正整備（案）
始まっているよと地域から見られているよと言う話をしていただければ、ある程度
周知するまで意見等あると思いますので、慣れ合いでやっているのではないとい
うことを町民の皆さんからも理解していただけるような形で引き継ぎと周知を徹底
していただきたいと思っております。

伊藤会長 その他ございますでしょうか。それでは皆さんから色々ご意見を承りましたけれ

ども、教育委員会、教育長からよろしくお願いします。

教育長

私は意見をお話することはできませんので、感じたこと感想を申し上げたいと思います。まずは昨日の吹浦の町政座談会でも、ぜひ開かれた、どういう風に話し合いが進められて、結論はどうなるか分からない、ここで決まりますが、色んな場面でフィードバックする、あるいは説明の機会を設ける等して、毎月は毎回で出来ませんのである程度、例えば中間的な意見、こんなふうにまとめようと今していますという段階では、もし行政であれば教育委員会の事務局で会議の中身をご説明申し上げるとかもそういうことも予定していますし、皆さん各PTAなり地区の代表で来ているわけですから、こんなことが話し合われているとかこんなことを検討してみようとか、幅広く意見を聞いてもう1回ここでそういう流れになってますと、ぜひ随時繰り返していく、それが開かれたていねいな議論ということ、要するに昨日の吹浦の座談会での質問は、閉ざされた場所で誰が集めて誰が会長になってどういう人が集まってどういうふうに決めるのか、結果だけでできて納得できる人もいられるでしょう、賛成の人はできるでしょうけども、でもそうでない方はややとお思いになる、そういうことで情報を開いてください。もちろんこれは今の大きな問題です。稲川、西遊佐の時もそうでしたが、10対0や9対1にならない。場合によっては5対5でもどっちかに行かなければならない。残りも課題がある。予算があって、課題もある。進むのも全部いいわけではなくて、そのことによってクリアしなければならぬ課題とか色んなことが出てくる。こっちしたから100%なら誰でもゴーサイン出す。極端に5対5でいかなくても6対4でも7対3でも3割の方はややという思いで、誰がどう決めたのかとそういう不安は残るんです。たぶん藤崎小学校の時も「誰が決めて統合するのか、いつ決めた、誰が決めた」とそういう方がたくさんおられましたし、そういうことがあると聞きました。ただ、そういう人方も今、「前倒しで早くしてもらった。子どもがたきらきら目輝いてよかった」とそうになっているわけで、そういう風に持って行かなければならない、それが私たちの役目だと思います。皆さんからまず子どもたちのことを考えて、今統合して例えば4年後5年後そのことを考えていますけれども、1小学校になるあるいは複式のままずっと残す手もある。実際そういった町、村もあるわけです。（本町でも）実際かつて3小学校の意見もあったと聞いてますけれども、その時は反対が強くで無くなった。今私たちが真剣に考え、また考えようとしている。平成23年の議論の時は、一緒になる時は少子化がどんどん進んでいく流れは目に見えているわけですから、町の人口はどんどん減っていくわけだから小学校1つになって子どもたちを町全体がコミュニティとしてまとまって育てていく必要があるということで、複式は基本的に設置しない。みんなが吹浦も高瀬も蕨岡も一緒に複式になるなら問題はないけれども、ある時はなまってまた戻ったりその繰り返しの中で進んでいくわけですので、やっぱりどこかのタイミングで決断するときにはしなければならぬ。PTAとの懇談会ではそういう方向に行くとすれば、決めることを早くして準備期間に時間が必要でしょう。スクールバスをどうするか、教室をどうするか、校名をどうするか、校歌をどうするかとか色んなことがある。もし決めるなら決めて準備期間に時間をかけてという意見が大半だったと確認してます。そういうことで前回教育委員会の答申では複式を設置しない。1小学校にする時は一緒にと決めたわけです。

勿論それが絶対ということはないが、やはりああいうまとめをしてくれた方々がいらっしゃるわけですからそれは前提として議論して結論を導き出すというのが行政の段取りだと思います。だからそれが100%それに縛られるわけではなくて、それこそ開かれた中で議論することによってよろしくお願いしたいと思います。もう1つ私の頭にあるのは、今日出なかったのですが、中学校もどんだん子どもが減って、那須委員からちょっと出ました、今311人ですけれども、学年4クラスで、山形県が33人学級やっているから4クラスであって、前の40人学級でいけば3クラスしかないです。学年70人台がまもなくきます、その時には中学校2クラス多くて3クラス、そんな時代も来るということを前提に置かなければいけない。中学校の校舎21教室あります。空いている教室の活用も含めて、ということは前回の答申が1小学校という流れでしたので、そうして考えれば1小学校1中学校になれば小中一貫校、小学校1年生から6年生、中1から中3と言わないで、義務教育は1年生から9年生までそういうことでカリキュラム、勉強の中身ももっと効率よく、そういうことも含めて考えていく時期も来るのかなという思いもあります。どうか今日貴重な意見をいただきまして、開かれた議論をしていきたいと思いますということと、34年という1つの目途があったわけですので、そここのところの結論出るものとして、親御さん方はやっぱり統合しない、する、どっちにしても色んなことが心配なるんだと思います。そこが多くのかかる心配か払拭できるような議論にしていいただければありがたいと思っております。この次今日の意見を踏まえてさらに突っ込んだ前に進んだ意見を次回たくさん出していただけたらと思います。私の思いとしては小中一貫校なんて聞きなれない言葉を出したものですから話を続けますが、京都市は全部小中一貫校です。極端な例は5年生まで小学校で6年生と中1から中3まで5、4制でやっている学校がある。そこがいいという話を聞いてますので、そういった考えで、小学校だから6年、中学校だから3年ということではなく、5年生までとそういう学校もあるということですのでそういうところの話を聞くことも考えながら我々も勉強していきたいと思いますのでよろしくお願いします。

伊藤会長 どうもありがとうございました。今教育長のお話で会議の方大体終盤ということでは審議会の時間的なものも若干皆さん言い足りない分あればまだありますのでどなたかご意見あれば受けたまわりますがいかがでしょうか。

眞嶋委員 この前藤崎小学校で緑の少年団という入団式がありました。明日、いなほ学園ということで稲作りの田植えがあります。やっぱり小学校というのは地域とのつながりが非常に大きいのでそういう点を十分考慮ながら統合に向かって進んでいければと思っておりますのでよろしくお願いします。

教育長 教育課程、子どもたちの勉強と地域の色んなことをどう組み合わせていくかということ、それは準備期間での話し合いになると思います。ここでは十分配慮して学校の教育環境を作ってくださいということでコミュニティ・スクールも動き出したということで合わせてご理解いただきたいと思います。

伊藤会長 ありがとうございました。この審議会は第1回目の審議会で教育長から諮問案件をいただきました。「遊佐町立小学校の適正配置とされる統合小学校への実施時期等について」ということこれが1点。2番目は「遊佐町立小学校1小学校にする場

合の付帯事項等について」この2つについての諮問を受けたまっておるわけでございます。今日皆さまからお1人お1人のご意見思い等を発言していただきました。今日の主議会はこのようなかっこうで発言いただいたところで一応閉めさせていただきたいと思います。次回皆さまの発言なされたことを会議録ということで示されますので、その辺もまたご拝読いただきながら2つの諮問事項に対する目標を改めて皆さんからご協力いただきながら進めていければと思いますのでよろしくお願いいたします。以上協議の方はこれで終わります。

教育課長 ありがとうございました。それではその他の方で、

教育長 (個人情報取扱いの観点より公開は控える)

教育課長 承りました。会議録については後ほど皆さま方のお手元に配布して確認していただきながら公開に向けて準備しながら進めていきたいと思っています。よろしくお願いします。それでは、前回審議会のこれからのスケジュールを出していましたが修正をしましたので再度提出しながら次回の日程の説明もさせていただきたいと思っております。資料3をお配りしました。これまでの審議会の日程を入れておりますし、次回3回目になりますが、6月28日を予定させていただきたいと思っております。時間は同じ夜7時開始にさせていただきたいと思っております。今日の会議の中でもお話いただきました情報公開、町民の皆さま方への審議会の話し合った経過、話し合った中身ついて、ある程度情報を提供していきたいと思っております。第5回の審議会が8月に予定していますのでそれまでに話し合われたことについては中間報告という形で町民の方に示していきたいと思っております。9月審議会は一時お休み、再度10月から開始させていただければ思っているところです。ですから中間報告の前、8月の会議は中間報告を取りまとめる会議にさせていただきたいと思っております。次回6月の3回目については諮問のありました統合の時期や付帯事項の具体的なことにつきまして皆さまからご審議いただきたいと思います。合わせて教育長からお話のあった小中一貫校、先進地もございますので、そちらに皆さま方と一緒に視察に行くことはこの日程では難しいと思いますので先進地の方に来ていただいて研修を受けることも考えますのでこういうお話を聞きたいという委員の皆さま方の意見が多ければ研修の時期も考えていきたいと考えております。次回そういった形のものも検討させていただければと思っております。今回は6月28日開催という形で本日の会議は閉じさせていただきたいと思います。

那須委員 もう1ついいですか。閉める前に各小学校中学校の収容人数。

教育長 教室のスペースですか。

那須委員 はい。遊佐小学校はどれくらい入る。遊佐中学校はどれくらい入る。という資料を、次回でなくても結構です。

教育長 全部の小学校ですか、遊佐小学校だけでなく。

那須委員 大きいところ。遊佐中学校とか。参考になればよろしくお願いします。

教育課長 分かりました。次回まで準備をさせていただきます。当日になるかもしれませんが皆さま方には資料として配布させていただきたいと思います。

それでは本日は本当に色々な意見をいただいてありがとうございました。次回は具体的な時期等について皆さまからご意見をちょうだいしたいと思いますのでよろしくお願いしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。